

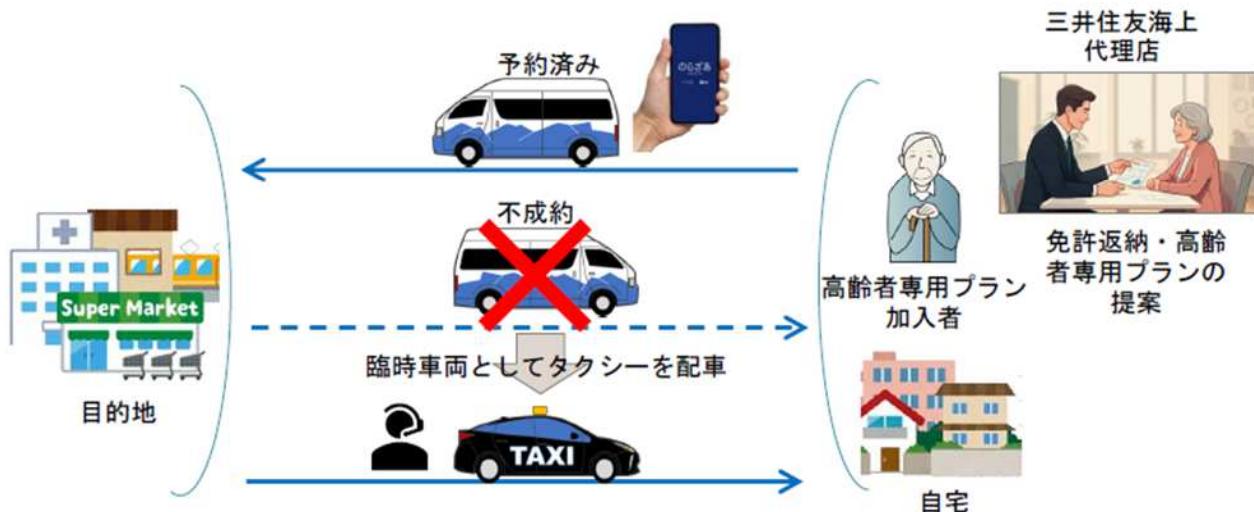
実証実験の内容（案）

名称	AIデマンドバスとタクシーのハイブリット運行による免許返納モニター実証実験
実施期間	2025年10月～12月（予定）
実施主体	三井住友海上火災保険株式会社
共創PF	共創PF名称：茅野市高齢者免許返納推進プラットフォーム 共創パートナー：茅野市、Via Mobility Japan株式会社 交通事業者（アルピコタクシー（株）、第一交通（株）、諏訪交通（株）、茅野バス観光（株））
目的	復路の不成約を心配せずにのらざあを利用できるような新たな仕組みを導入し免許返納を促す。
実施内容	①AIデマンドと臨時タクシーを活用したハイブリッド運行を実施（条件付き） ②高齢者専用プランの導入（月20回まで乗車可能、6000円/月）
実験対象者	免許返納の意向はあるが、現状では公共交通の利用を積極的に行っていない「免許返納候補者」（以下免許返納モニター）を対象とする。（10名を予定）

AIデマンドとタクシーのハイブリッド運行

【実証運行概要】

- 免許返納モニターには高齢者専用プランに加入いただき、三井住友海上代理店よりアプリ操作や利用方法について親身にサポートを行う。
- 実験期間中、往路はのらざあを利用していただき、復路についても、基本的にのらざあを利用してもらう。
- 復路の配車が不成立となった場合、コールセンターからタクシー車両を配車し、個別に輸送を行う。



- 復路の臨時タクシーでは“乗合”は行わず個別での輸送とする。（一般乗用旅客の範囲）
- 臨時タクシーは専用車両を用意せず、一般的なタクシーの予約として取り扱っていただく。